

全国・全日本ラージボール卓球選手権大会県予選会代表者選考方法

※出場枠数

- ・全国大会：シングルス9人、混合ダブルス8組（ただし、前回大会の推薦出場は無し）
- ・全日本大会：シングルス9人、混合ダブルス8組（ただし、前回大会の推薦出場はシングルスB 8、混合ダブルスB 4）

※代表決定方法

1. シングルス各種目1人及び混合ダブルス各種目1組を優先する。
2. 各種目で複数人（組）登録があっても、他の種目で登録がなく9人（8組）に満たない場合は、すべて出場できる。
3. 9人（8組）の出場枠を超えてしまった場合は、その種目で予選リーグを行う。

各種目予選1位の選手（組）を代表とする。

4. 残枠の代表数は、以下の方法で当日発表する。

①
$$\frac{\text{各種目の残数（参加数－代表数）} \times \text{残りの枠数}}{\text{各種目の残数の総数}}$$
 の比率で決定する。
(棄権は含まない)

- ② 同率の場合は、リーグ内の得失ゲーム率→得失ポイント率の順で代表を決定する。

第38回 全国ラージボール卓球大会 予選会申込状況

※全国大会出場枠：9名

No.	チーム名	シングルス									
		一般	40	50	60	65	70	75	80	85	
		男子	男子	男子	男子	男子	男子	男子	男子	男子	
1	koiki		1								
2	LUMINOUS					1					
3	楽人	2	2								
4	AZAC					1					
5	びわこ									1	
6	高島クラブ				1			4			
7	野洲クラブ					1		1			
8	近江クラブ	1									
9	チームラビット	2									
10											
	合計	5	3	0	1	3	0	5	0	1	18

※選考手順

- 各種目1人の場合は確定。→60と85が確定（残り7枠）
- 複数参加の種目毎にリーグ戦を行う。（一般、40、65、75の4種目）
- リーグ戦の結果、4種目の1位を確定する。→一般、40、65、75の1位が確定（残り3枠）
- 残枠の代表数は以下の方法で当日発表するものとする。

①
$$\frac{\text{各種目の残数（参加数 - 代表数）} \times \text{残りの枠数}}{\text{各種目の残数の総数}}$$
 の比率で決定する。
（棄権は含まない）

- ② 同率の場合は、リーグ内の得失ゲーム率→得失ポイント率の順で代表を決定する。

①の計算結果

※一般 $\frac{4 \times 3}{13} = 0.9$

※40歳 $\frac{2 \times 3}{13} = 0.46$

※65歳 $\frac{2 \times 3}{13} = 0.46$

※75歳 $\frac{4 \times 3}{13} = 0.9$

一般と75歳が代表とする

②の計算結果

40歳と65歳が同率なので予選リーグの勝率の高い方を代表とする

第38回 全国ラージボール卓球大会 予選会申込状況

※全国大会出場枠：9名

No.	チーム名	シングルス									
		一般	40	50	60	65	70	75	80	85	
		女子	女子	女子	女子	女子	女子	女子	女子	女子	
1	koiki										
2	LUMINOUS				1						
3	楽人		1								
4	AZAC										
5	びわこ										
6	高島クラブ			1		2			2		
7	草津卓愛会						1				
8											
9											
10											
	合計	0	1	1	1	2	1	0	2	0	8

※選考手順

- 1 参加者が、出場枠内なので全員確定。

第38回 全国ラージボール卓球大会 予選会申込状況

※全国大会出場枠：8組

No.	チーム名	混合ダブルス								
		一般	80以上	100以上	120以上	130以上	140以上	150以上		160以上
1	koiki									
2	LUMINOUS				1					
3	楽人		1							
4	AZAC					1				
5	びわこ									
6	高島クラブ				1			1	1	
7	平クラブ			1						
8										
9										
10										
	合計	0	1	1	2	1	0	1	1	7

※選考手順

- 1 参加者が、出場枠内なので全員確定。